

藤波こども園

令和6年度 園長だより No.6

令和6年11月8日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

年長児がモデル 私たちもやりた〜い



(川島の提中さんからいただきました)

暑さ厳しい夏が終わり、一気に冬に向かいそうな勢いで肌寒さを感じるようにもなりました。子どもたちは運動会を思う存分に楽しみ、サツマイモ掘りをしたり園庭で落ち葉拾いをしながら秋を実感しているようです。藤波が基本としている「縦割り保育」の意味を感じ取っている様子もちらほらと見えました。

「私たち(星組・花組)も 月組さんのようにやりた〜い」

今年の運動会も月組の子どもたちからの「運動会をやりたい」という声で始まりました。運動会で何をするか、組体操をどんな内容にするのかなどを、月組の子どもたちと保育者で相談しながら



決めていたようです。話し合っただけで決めた運動会種目を園庭でしているのを見た星組・花組の子どもたちも黙ってはいません。「月組さん、何をしているの?」「私たちも運動会やりたい」と、保育者に訴え、何をしようかと相談していました。



藤波の「めざす子ども像」は6点ありますが、その中で特に大切にしていることは「主体性」と「思いやり」です。与えられたことをそのまま聞き入れるだけでなく、「自分は何をしたいのか」「やりたいことのためには何をすべきか」 ↑

「周りの人たちはどんな気持ちなのか」などを考え、行動できるよう育ててほしいと願い、子どもたちに関わっています。正直なところ、とても難しいです。でも、私たちの願いが通じて子どもたちが主体的に活動する姿を見るとうれしい気持ちになります。

「私たち(乳児)も入れて〜」

〜園庭での運動会ごっこで〜

運動会後の“ホーム運動会”を行っていたとき、その様子を見ていた雪組の子どもたちから



「入れて〜」の大合唱。その後、みんなでバルーンや組体操を楽しんでいました。

“一緒に 運動会 楽しもうね”

〜メッセージなどで飾りつけ〜



みんなと同じことを全てすることが難しく室内でも運動会を楽しんでいるお友達に「看板や旗を作ろう」

と言って、一緒に室内運動会を楽しんだり応援し合ったりし、気持ちが通う場面がありました。

みんな楽しかった“秋まつり”

～PTA役員さん、参加の方たち

ありがとうございました～

10月26日



(土)の午後、PTA役員さんの企画・運営で“秋まつり”が行われ、

たくさんの保護者の方と子どもたちが楽しく過ごされました。以前に行われていた夏まつりのようなことをしたいと昨年度のPTA役員さんが話し合わ

れ、計画されていたのですが悪天候で中止となってしまいました。そこで今年度のPTA



役員さんが「子どもたちを楽しませたい」との思いで計画し、開催されました。



秋まつり、ありがとうございました。子どもたちが「すごく楽しかった」と言っていました。

PTA役員さんの皆さん、企画から本番までおつかれさまでした。去年の計画よりもバージョンアップしてフォトスポットなど素敵なアイデア等もあり、すごかったです。また、何より無事に開催できてよかったです。去年に用意していたものも使ってくださっていて嬉しかったです。(笑) 子どもたちの笑顔が見られ、親もとても楽しかったです。ありがとうございました。

(昨年度のPTA役員さん)

昨年度はゼロからの企画、今年度は初めての開催となり、前例がない状態での計画・運営は難



しかっただろうと思います。昨年度も、今年度も何回も集まって話し合いをされていました。それぞれがご自宅で小道具の用意もされていました。そして当日にはたくさんの方が参加してくださり、多くのことが重なって子どもたちの笑顔につながったと思います。みんなのいる場所に集まり、みんなと一緒に何かをすることの楽しさを子どもたちは感じてくれたことでしょう。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金に

ご協力を

赤い羽根共同募金運動は1947年に「国民たすけあい運動」として始まりました。寄せられた募金は地域の福祉活動に役立てられます。また、災害



時には被災地支援にも役立ちます。募金箱は11月から12月初めをめどに藤波こども園に届けてください。ご協力をお願いします。

★年下の子にやさしくするA君

ある時、ラキュー(ブロックおもちゃ)で作ったものを持っていた年中のA君に年少のB君がぶつかり、作っていたものが壊れてしまいました。怒りの気持ちからか、険しい顔のA君。でもB君に怒りをぶつけることはありませんでした。その後「A君、よく我慢したね」と声をかけた途端にA君の目から涙がポロポロ。そしてA君から「B君は小さい子やから、怒ったらかわいそうや。」幼い子の心の育ちを見たような気がしました。